

現代オペラ コンクリートWATER



クライマックスではモニカの腰まで水につかっ
ての熱演に800人の観
客からは惜しみない拍手
が送られた。

9月24日JR成田線・オランダ出身で我孫子新木駅南の住宅地の中に市在住のモニカ・ケーコある越後尻調整池で現代オペラ「コンクリートWATER」が上演された。出演者によるパフォーマンスが会場となった調整池は深さ10メートルほどの巨大なコンクリート造りで古代の神殿か野外劇場のよう。当日は好天、秋の空は澄んで高く、月明かりに照らされた会場はさながら異空間の印象だ。

新。照明を水面に反射させて大きく壁面に映し出された輝くようなさざ波の映像は背景として圧巻だ。